

# 第10回 まちづくり市民ワークショップ《いばらきMIRAIカフェ》ニュース

日時：平成26年2月1日(土)、13:00～16:20  
 場所：茨木市役所南館 10階大会議室

## ◆ 次第 ◆

(開会)

第1部

グループ発表

- ・ 班ごとにプレゼンテーション
- ・ 講評(近畿大学 久教授)

第2部

パネルセッション

- ・ MIRAI カフェメンバー以外の市民や関係団体の方と自由に交流

(閉会)



当日の会場の様子

7月にスタートしたいばらき MIRAI カフェも今回が最終です。これまで考えてきた事業提案をみんなにアピールするため、今回は MIRAI カフェのメンバー以外も参加可能な「オープンカフェ」として開催し、130人の参加がありました。

### 【第1部】：グループ発表

- くじ引きで発表の順番を決定し、順に提案内容についてプレゼンテーションをしました。プレゼンテーションの後には、市役所の職員からコメントもあり、会場は市民と行政が連携しながらまちづくりを進めていこうという雰囲気になりました。



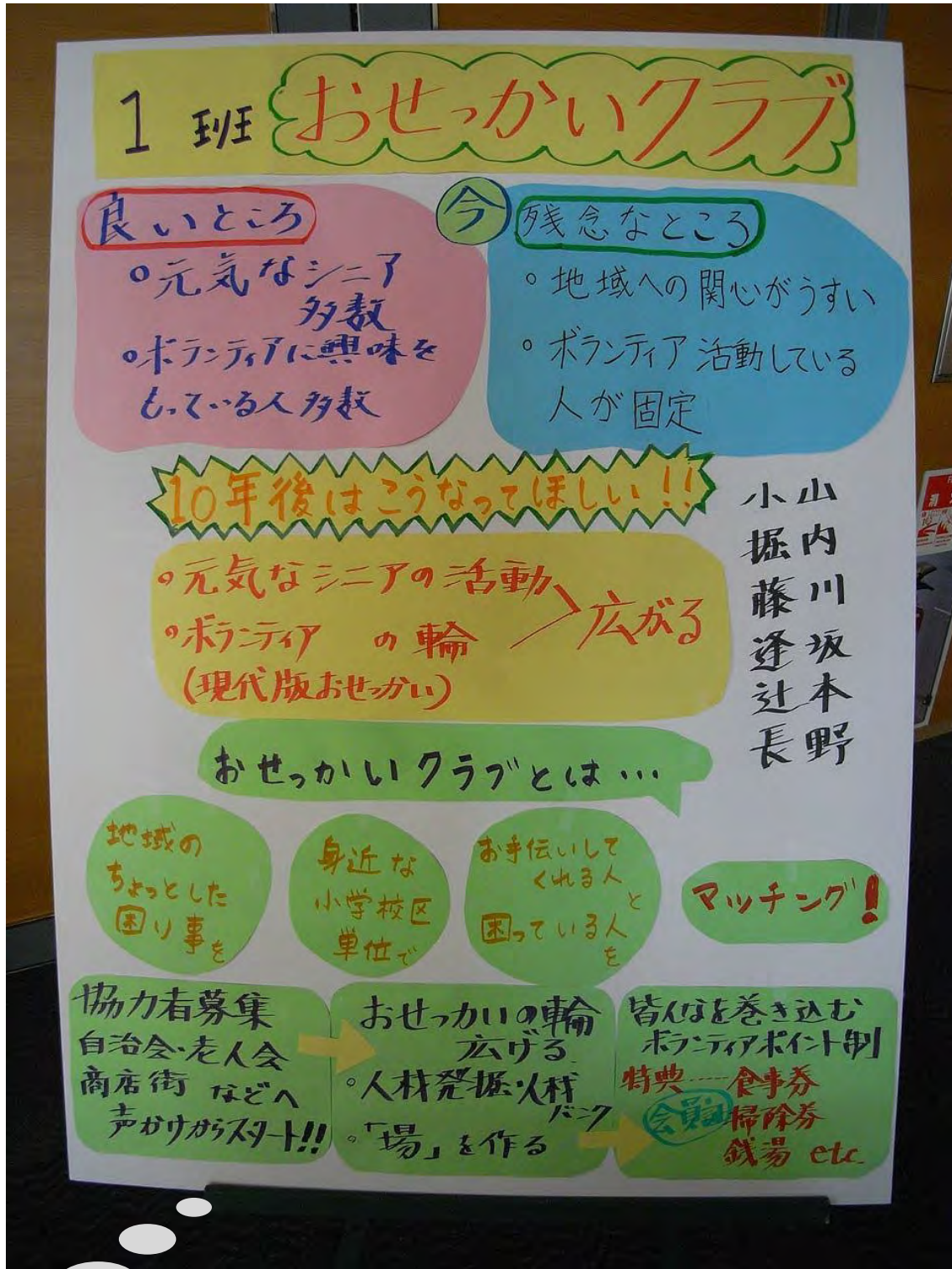
発表の順番を決めるくじ引き

### <各班の提案の、テーマと目標>

テーマ	班	目標	タイトル
福祉・健康	1	地域に関心を持てるまち	おせっかいクラブ
福祉・健康	2	そこに行く仲間(ヒト)がいる ～ 健康長寿日本ー!! ～	いばらきMIRAIカフェ
子育て・教育	3	自分で考え生きぬく力を持った子どもをまち全体で育てる	10年後に「自分で生き抜く力を持った子ども」を育てる!!
	4		デラックス子ども会
環境	5	20歳になったら環境人!!	20歳になったら環境人
産業	6	“楽しみ”が見つかる街	茨木ええとこ一度はおいで
都市	7	合理的なまち 地元で循環するまち	いばらきMIRAIバス
安全・安心	8	誰もが安心して暮らせるまち	地震が起きてもみんなで助け合えるまち
文化・生涯学習	9	元気!! 活気!! それゆけいばらき!!	いばログ設立
つながり・協働	10	一人ひとりの役割分担!	いばらき再発見
	11	人を活かす自発的で民主的な仕組みづくり!!	熱(あつまる)会

■各班の提案

【1班】おせっかいクラブ



- 「おせっかいクラブ」を立ち上げて、困り事、悩み事などを身近なところで解決できるようにしていきたい。
- 「おせっかいクラブ」の立ち上げを手伝ってくれるメンバーを募集



## 【2班】いばらきMIRAIカフェ

健康福祉の

みんなで いばらき産の 料理を 愛情たっぷり いま、つくる

### いばらきMIRAIカフェ

**現状**

- 生活習慣病(高血圧・糖尿病など)が増加傾向
- ストレスが多い現代社会で心の病気になる人が増加
- 住民同士のコミュニケーションが希薄化

**課題**

- 実施場所の確保(→公共施設の使用、空き家・空き店舗の活用)
- 茨木産の食材の確保(→見山の郷、みしま館、農家との連携)
- 利用者、担い手の確保(→広報誌等での周知、研修会の定期開催)

**活動内容**

「食べること」を通じて、人と人がつながり、心と体が健康になるカフェを開く。カフェでは茨木産の食材を用いたヘルシーな料理を皆で作るほか、食と健康をテーマにした元気が出るイベントや世代間交流を開催。楽しく健康的な長寿社会を作るのが目標。

**活動イメージ**

いばらきMIRAIカフェ

協力者  
食材  
開催場所

憩う 世代間交流  
茨木産の農作物  
健康献立  
食事栄養相談  
習う 学ぶ  
教える

住民

健康に興味あり 行、てみたい 人と交流したい

手伝、も (い)よ

わたくし やってみよう

2班 健康・福祉  
乾、伊都、中村、加藤

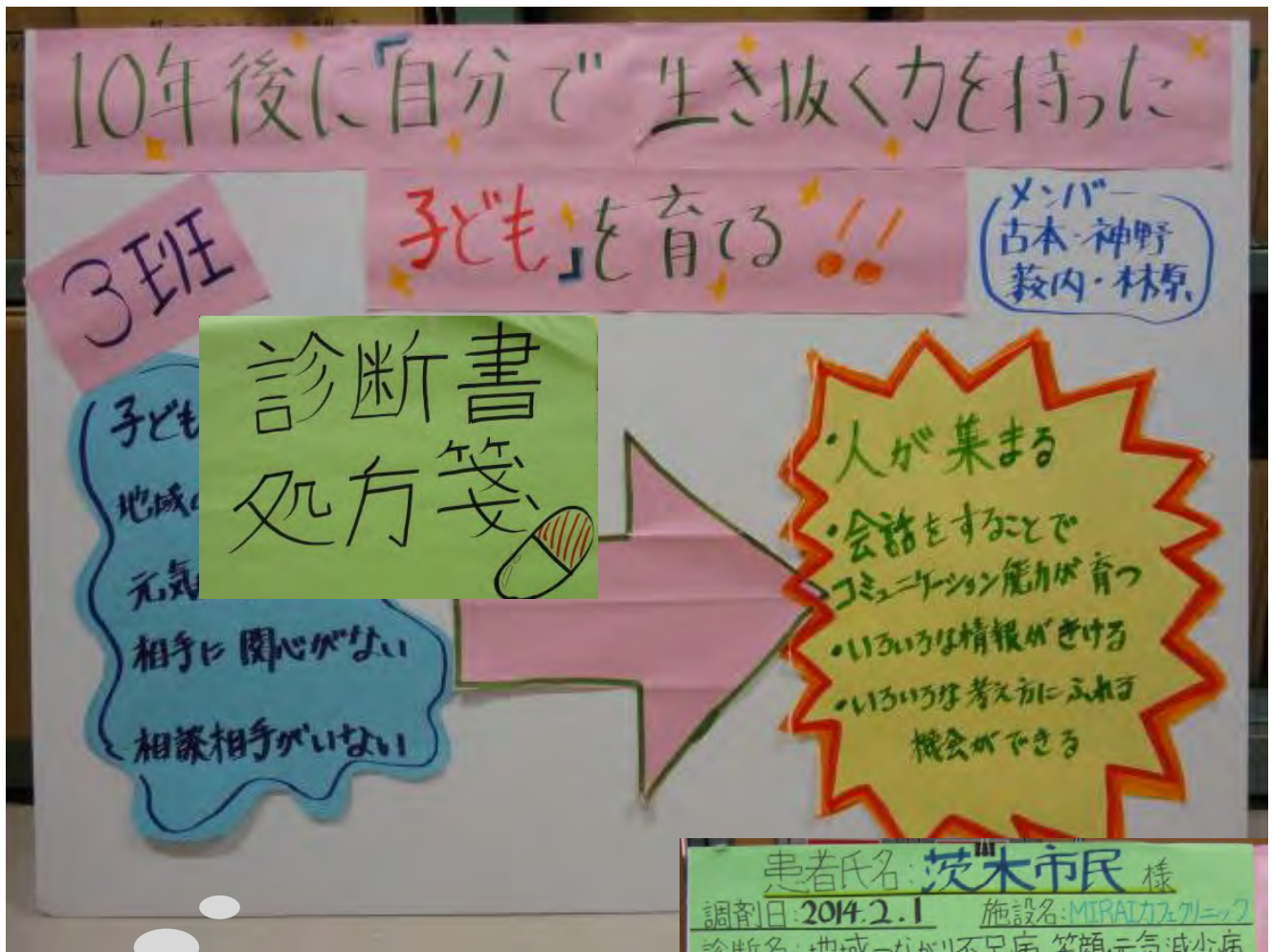
第1回 いばらき MIRAI カフェの料理  
(2月1日の午前中に開催)



- 「食べること」を通じて人と人とのつながりを、そして心と体の健康を！みんなで作って食べる「いばらき MIRAI カフェ」を開催する。
- 第2回 MIRAI カフェを3月21日に開催予定!!



## 【3班】10年後に「自分で生き抜く力を持った子ども」を育てる



- 「笑顔であいさつ」これを「大人」が率先して実践していくことが大切。
- あいさつを継続していくことで、相手の顔がわかる、顔見知りになる、地域のつながりがうまれていく。
- みんなであいさつをしよう!!

患者氏名: 茨木市民 様	
調剤日: 2014.2.1	施設名: MIRAIカヌエフ
診断名: 地域つながり不足病, 笑顔元気減少病 コミュニケーション能力低下病, 自己中心病	
医薬品名: あいさつ	
服用方法: 1日なんどでも	
作用:	笑顔になり元気が出ます。 相手の顔が分かり顔見知りになれ 相手に興味を持ちコミュニケーションが生まれる 相手の名前を呼ぶことが出来て相手を 元気にし嬉しくすることが出来ます。
副作用:	なし
備考欄:	同時に「笑顔」を服用 して頂くと作用が倍増いた します。 継続して服用することで作用が どんどん現れますので続けて いきましょう!!

診断書 処方箋の内容

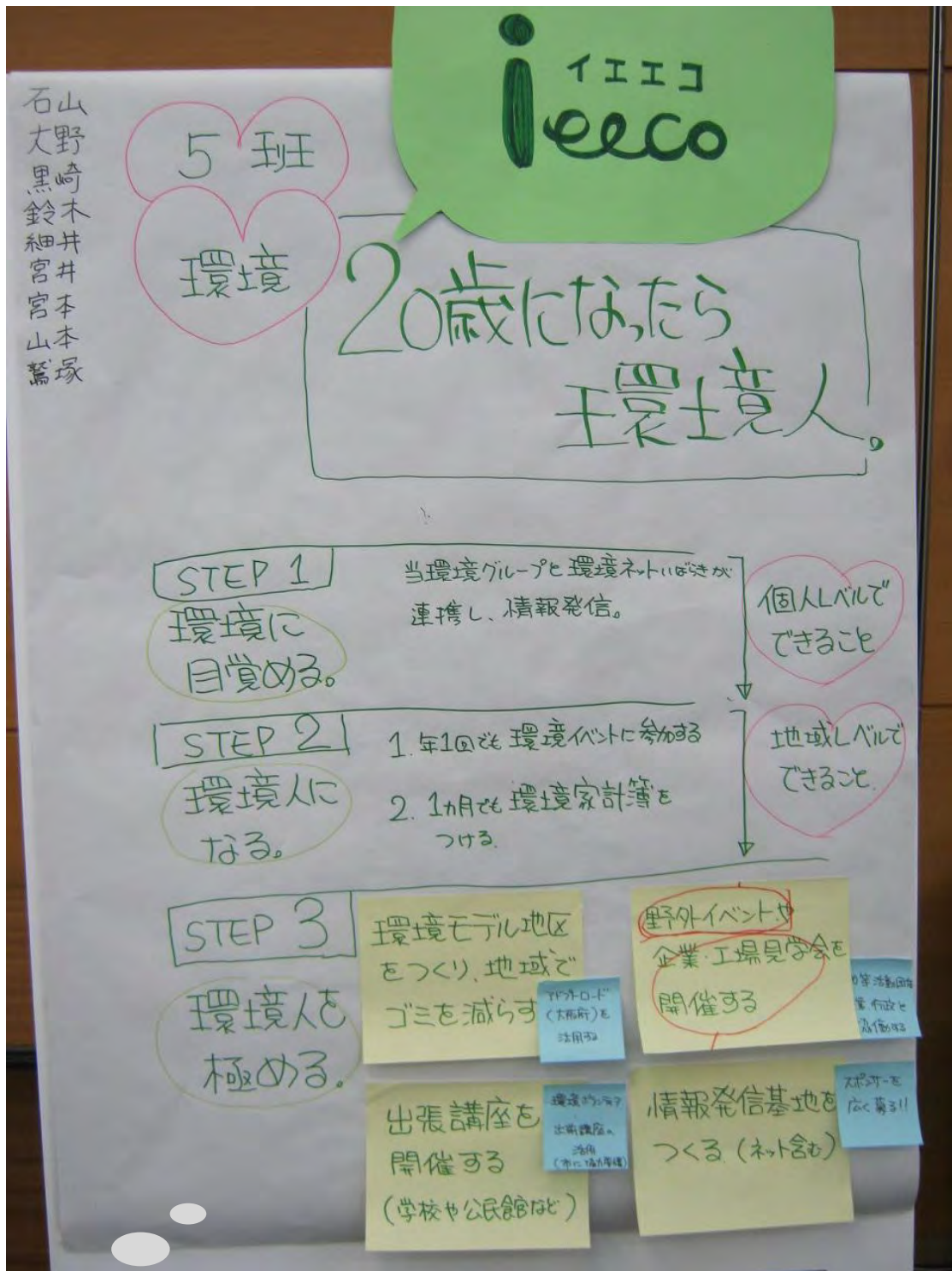


# [4班]テラックス子ども会



- 「テラックス子ども会」の対象は「乳幼児・小学生・中学生・高校生」
- 自治会など既存の組織と連携しながら必要な人材を募集して立ち上げていきたい。

# [5班]20歳になったら環境人



※環境に配慮して、パネルではなく模造紙を活用

- 茨木市民は「20歳になったら環境人」
- まずは、「環境に目覚める」。環境ネットいばらきが連携して情報発信をします。次に「環境人になる」。年1回でも環境イベントに参加し、環境家計簿をつけます。最後は「環境人を極める」地域でできる仕組みを作っていきます。



## [6班]茨木ええとこ一度はおいで

6 産業 班

### いばらきソムリエと行く探険ツアー 「茨木ええとこ 一度はおいで」

#### 茨木のええとこ♥

- ・おいしいお店や商品がたくさん
- ・歴史的な背景
- ・豊かな自然と農産物

#### 目的

中島原 高山 伊吉山 大井山  
山田 崎下 東田 中川

「楽しみ」が見つかる  
街にする!!

### 事業の概要

みんなて  
商店街を歩く

仲間を  
集める!

お気に入りの  
お店・商品・場所を  
見つける

ソムリエ  
誕生!

色々なお店と  
仲良しになる

商店街ツアー

まちの  
情報が集まる

#### どんなツアー?

- ★ 匠の技ツアー
- ★ スイーツツアー
- ★ 茨木産を楽しむツアー
- ★ 食べ歩きツアー
- ★ ミステリーツアー
- ★ 食と歴史ツアー

#### 事業の効果

- ★ 市内で買い物をするようになる (商店街の活性化)
- ★ 市外の人から茨木を訪れる
- ★ 茨木のことが自慢できるようになる
- ★ 茨木産のメジャーになる

一緒に商店街に行きませんか?  
目指せ!  
いばらきソムリエ!!

- 茨木の商店街を中心にまちあるきをしました。知らないことがたくさん。魅力あふれるまちであることを再発見。
- まずは班のメンバーがいばらきソムリエとなって「まち歩き」の企画をした。

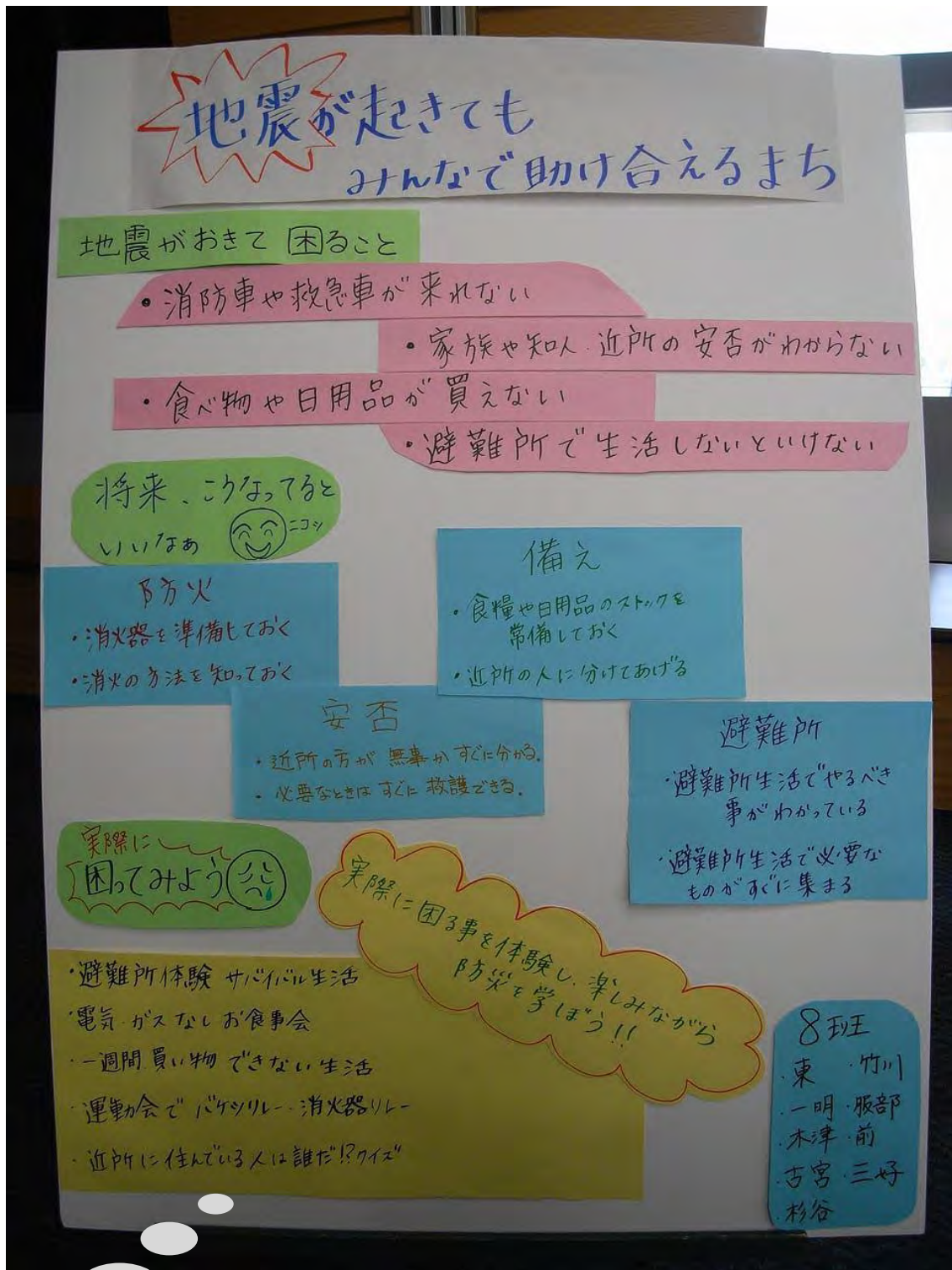
## 【7班】いばらきMIRAIバス



- 久しぶりにバスに乗ってみました。利用してみると路線案内などは日頃から利用している人でないとわかりづらい、使いにくい。
- バスがなくなると困るので、1人でできることから10,000人でできることを考えました。まずは、バスに乗りましょう!



## 【8班】地震が起きてもみんなで助け合えるまち



○ 実際に困った体験をして、楽しみながら防災を学ぶことで備えの大切さを実感しよう。

### 【実際に困ったこと体験】

・電気・ガスがない食事会    ・避難所体験サバイバル生活    など

## 【9班】いばログ設立



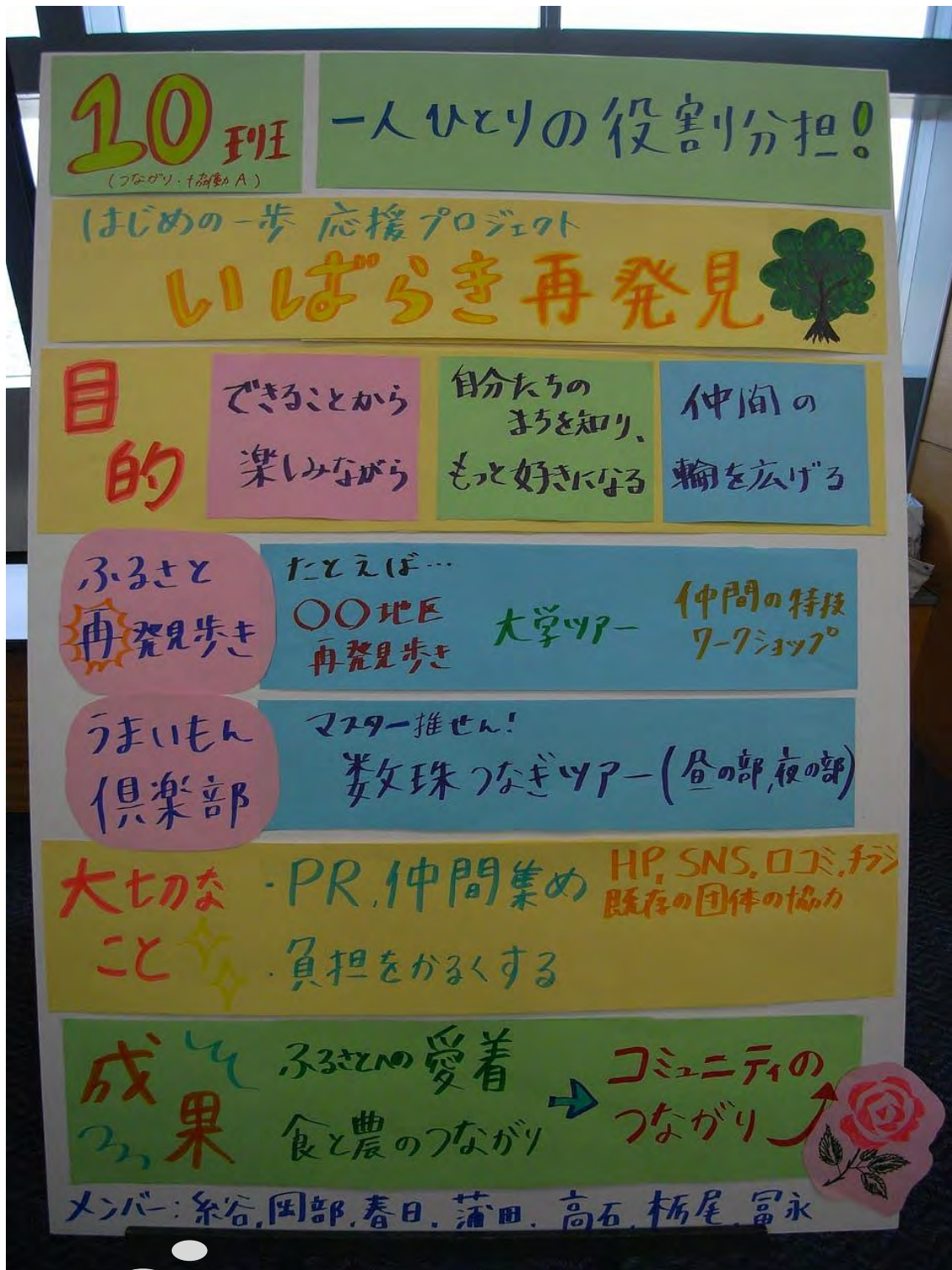
- 茨木市で開催されている多彩なイベントに多くの人が参加できるように情報発信・交換する「いばログ」を立ち上げました。

<http://profile.ameba.jp/ibalog-miraicafe-9/>

- 「いばログ」に関するお問い合わせ [ibalog.miraicafe@gmail.com](mailto:ibalog.miraicafe@gmail.com)

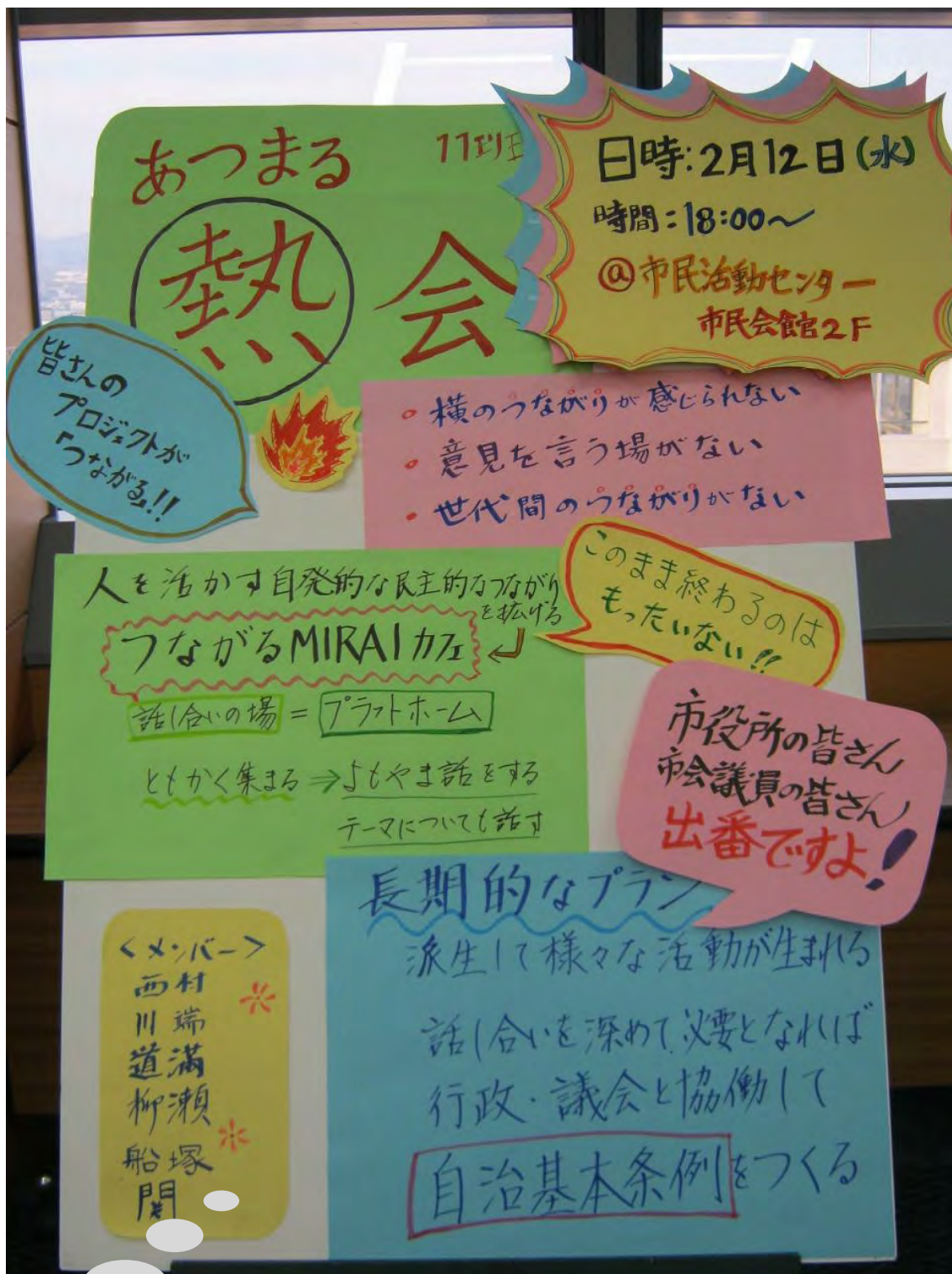


# (10班)いばらき再発見



- 何かを始める時の「はじめての一步」を応援したい。
- 「楽しみながら」「できることから」「負担をかけずに」を大切に。
- まずは「いばらき再発見歩き」「うまいもん倶楽部」

## 【11班】 熱(あつまる)会



- 「いばらき MIRAI カフェ」をこのまま終わってしまうのはもったいない。  
よもやま話をする、話し合いの場(プラットフォーム) 熱(あつまる)会を立ち上げます。
- 第1回は2月12日に開催!!



## ■ 久先生からの講評

仲間を作っていく活動の実現に向けてはいくつかポイントがあると思います。

### 1. 仲間づくりの秘訣

まずは、すでに活動をしている団体と連携する。「仲間になってくれませんか」と呼びかける。次は、仲間を募ってスタートする。「こんな事を考えています。やってみたいです」と呼びかける。そのためには、まず自分達でやってみる。実績ができれば呼びかけやすくなります。

### 2. 楽しく活動する

自分自身が楽しんでいるかどうか。『トムソーヤの冒険』のペンキ塗りの話やアメリカの学者ダニエル・ピンク氏の著書にもありますが、当事者が楽しんでいると周りはやってみたくなったり、参加してみたくになります。活動を広げるためには、楽しんでやるのが大切です。

### 3. つながりをつくる仕掛けをつくる

いばログ、あつまる会など「つながる仕掛け」についても提案がありました。ほんの小さなきっかけがあればつながっていきますが、つながるための「場」を作ったら、そこから先は参加者の積極性が大切です。「場」をどう活用していくか。場が盛り上がらないことを事務局の責任にしない。一人ひとりがどういう気持ちで関わっていくのか。それがすごく大事なことです。



## 【第2部】：パネルセッション

○ MIRAI カフェメンバー、既存の市民活動団体、一般参加者の新たな出会いの場になるよう、自由に交流をしていただきました。

プレゼンテーションで気になったところへ。熱い意見交換が行われました。



すでに活動をされている方々から活動内容と継続するためのコツを学びました。



### 【参加団体】

- 市民活動センター
- 茨木マイスターズ
- 茨木市物産振興協会
- 子育て食育実行委員会
- いばらき元気隊
- 茨木交流倶楽部
- NPO 法人ナルク  
茨木・摂津「おしどりの会」
- アンファン広場

## ■ 楚和副市長からお礼のあいさつ

MIRAI カフェにご参加いただきましてありがとうございます。

皆さんの発表を聞いて胸がいっぱいになりました。こんなにも茨木市のことを思っている市民、事業者、団体の方々がいらっしやることをうれしく思います。

発表の中で大切なキーワードがありました。1つは「協働」。行政だけで何かを進めていくことはできません。皆さんの熱い思いをくみ取り、市民の主体性を尊重しながらいかに取り組みを進めていくか。それと「楽しむ」。「楽しむ」視点を持つことが活動の継続につながるということ。「楽しむ」ことをいかにサポートしていくかを考えていきたいです。発表を通じて、茨木市の可能性を実感しました。こういったつながりを大事にしながら、茨木をよりよくしていきたいと改めて思いました。今後ともよろしく願います。



### 【感想】

- ・ つながる「原石」が色々あるようで、うまく既存団体を活用するとより磨かれる気がする。
- ・ とても良い機会を与えていただきました。参加してよかったです。ありがとうございました。これを機につながっていただけたらと思います。
- ・ 改めてつながっていく秘訣は「あいさつ」だと実感しました。
- ・ 色々な方と知り合えて楽しかったです。個人的にも気軽にいろんな事に参加してみたいと思いました。
- ・ 1つ1つは小さくても2つ、3つと集まると大きなことができることが理解できました。
- ・ またこういった企画があれば是非参加させてください。
- ・ 6班(茨木探検ツアー)と7班(バスに乗ろう)のコラボ、9班(いばログ)で呼びかけて11班(あつまる会)でつながることができたら面白いと思う。
- ・ すでに活動が始まっているところもあるが、熱しやすく冷めやすくないように自分達のペースで進めたい。
- ・ このまま解散するのはちょっと寂しい気持ちです。どこかで会う機会があれば参加したい。
- ・ 各班、熱い思いがたくさんあつまっていて発表がおもしろかったです。
- ・ 参加して良かったというメンバーの感想を聞いたことが一番うれしかったです。
- ・ 茨木を思ってくれている方が多くて、どの班のプロジェクトにも「協力したい」という気持ちになった。
- ・ 市民の力で実際に活動が広がっているので、これを継続していければと思う。
- ・ 市内には様々な方が多岐にわたる活動を地道にされていることを直接知ることができ、すばらしいと関心した。
- ・ このワークショップは大変貴重な体験でした。ありがとうございました！



(MIRAI カフェメンバー以外の参加者)

- ・ 茨木を愛する熱意がよく伝わってきた。
- ・ すべての提案に共感しました。各提案をつなぐような仕組みがあればさらに良いものになると思います。提案にあった「あつまる会」「おせっかいクラブ」などいばらきMIRAIカフェを通じてできたコミュニティを守っていくこと、広げていくことが重要だと思います。ぜひ、仲間に入れてください。
- ・ 若い方の参加があったことに驚きました。様々な人が参加したからこそ、色々な世代の目線でアイデアが出されたのかなと感じました。
- ・ 継続する企画や団体ともつながりながら、市全体で活動を進める仕組みを考えることも重要だと思います。
- ・ 市民のエネルギーが頼もしいと感じました。



発行：いばらきMIRAIカフェ事務局(茨木市企画財政部政策企画課 TEL072-620-1605)

ホームページ <http://www.city.ibaraki.osaka.jp/mirai>

Facebook ページ <https://www.facebook.com/ibaraki.mirai.project>